

## 薬物乱用防止教室

講師 学校薬剤師 天野 稔 先生



12月1日 6時間目、2年生対象に本校学校薬剤師の天野先生に、薬物についてお話をさせていただきました。

前半は一般的な薬の話やタバコの依存性や害について説明があり、後半は違法薬物についてのDVDを鑑賞しました。

これから冬休みに入り、誘惑の多い時期になります。今回学んだことを忘れずに、健康に過ごしてもらいたいと思います。

### 生徒の感想(抜粋)

『病気やケガを治すはずの薬も、用法・用量をきちんと守らないと、体に害を与えることになるので気を付けないといけないと思いました。タバコは吸う人だけでなく、周り人にも害を与えてしまうものなので、吸わないのが1番だと思います。覚醒剤や大麻等の薬物は依存症、フラッシュバックなどの恐ろしい症状があり本当に恐かったです。自分の体を守るために、タバコや違法な薬物を使用するのは絶対だめだと思います。断る勇気と強い意志が大切だと学びました。』

『薬物乱用の動画の中で大麻をうったラットの実験で目に見えて薬物の恐ろしさがわかりました。ラットがマウスを食べてしまう場面はとても残酷でした。こんなにも脳を破壊してしまっ、最初の普通のラットと同じ動物だとは思えませんでした。たばこはいつも歩いている時に吸っている人がいると、とても臭く嫌な気持ちになるので、町中で吸う人がいなくなってほしいと思います。そして、自分の体を大切にしていきます。』

『今日来てくださった先生が舞台の上で薬品をまぜてみせてくれたり、DVDをみせてくれたので、わかりやすかったです。将来、タバコや薬物を勧められても、自分の体を思って断るということが大切なんだなと思いました。薬物を一度始めてしまうと、夢中になってしまっ、やめられなくなってしまうので、絶対やってはいけないと思いました。またタバコは人々の身近にあり、吸っている人だけが影響を受けるのではなく、周りにいる人や体内にいる赤ちゃんの方が、吸っている人よりも、一番影響を受けるということにびっくりしました。』